

令和7年度第2回看護研究倫理委員会議事要旨

日時 令和7年5月26日(月) 16:30～17:30
場所 WEB会議 (Microsoft Teams) ゼブラ棟2階多目的室④
出席者 ■伊藤委員長 ■山本委員 ■古賀委員 ■竹下委員 ■大矢委員
□藤谷委員 ■飯塚委員 ■三宅委員 ■原委員 ■小中委員
■山根委員
(■が出席、□が欠席を表す。)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。

議題

1. 看護研究申請書の審査について

(1) 課題名：看護師の組織市民行動とバーンアウトの関係性：構造的エンパワーメントを考慮した検討

伊藤委員長から、山本院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・ 8ページ研究計画書「図1 概念枠組み」について【組織環境要因】構造的エンパワーメントと【個人要因】個人の生産性、個人属性との関係性について確認すること。
- ・ 8ページ研究計画書「2. 研究対象者」について病床稼働率についても検討すること。
- ・ 19ページ【資料1：研究協力依頼書】「研究の目的と意義」について、組織市民行動に関する言葉の説明があるが、研究計画書と同様に用語の定義を項目として記載するか検討すること。
- ・ 20ページ資料1：研究協力依頼書「4. 本研究での倫理的配慮」について、回答は途中から再開もできることを追記すること。
- ・ 21ページ資料1：研究協力依頼書「5. 依頼内容」について、単科の病棟以外は対象外であることをわかりやすい記載に修正すること。
- ・ 29ページ「調査アンケートに使用する Google フォームの画面の写し」について、同意書の項目については必須にすること。

・その他、誤字に関する指摘があった。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

(2) 課題名：看護師の免疫関連有害事象 (irAE) に関する教育的支援の工夫と課題

伊藤委員長から、坂根講師より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。続いて申請者から研究の概要等について説明及び各委員から質疑等があった。

委員から、下記のとおり指摘があった。

・ 9 ページ研究計画書「7. 研究参加の選択基準」について、ICI を使用する患者は先端がん治療センター病棟だけでは網羅することはできないことから、その集団の特異性等はないか確認すること。

・ 14 ページ研究計画書について、看護研究実施状況報告書の提出が必要であるため、追記すること。

・ 19 ページ研究計画書「11. 9. 本研究により得られた結果等の説明」について、データの特定ができなくなることから研究参加者にフィードバックすることは不可能であるため、削除すること。

・ 26 ページ資料⑥について、13 ページ研究計画書「11. 5. 研究参加者のプライバシー及び個人情報を保護する方法」の内容を追記すること。

・ 33 ページ資料⑧の理解した項目について、資料⑥の項目と統一しているほうが分かりやすいため、修正すること。

・ 33 ページ資料⑧について、説明日と同意日を分けること。

・ 本研究の研究対象者の予定数が5名であるため、同意いただけただけの研究対象者の数が少なかった場合に解析に問題ないか確認があった。

・その他、誤字に関する指摘があった。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

報告事項

○審査結果について

1) 申請者：臨床看護学講座 松村 初恵

課題名：急性期病院の一般病棟で働く看護師が急変と認識する患者の徴候に関する研究

審査結果：承認（令和7年4月21日付）

○審査結果について（変更審査）

1) 申請者：臨床看護学講座 松村 初恵

課題名：「Team STEPPS」研修が看護学生のリスク感性和多職種連携能力へ与える影響

審査結果：承認（令和7年5月12日付）

○終了報告書について

令和7年4～5月提出：1件

○次回の委員会について

令和7年6月16日（月）16：30